

「JENESYS2018」第二十三回中国教育関係者代表団（招へいプログラム）の記録 （対象国：中国、テーマ：教育）

1. プログラム概要

中国日本友好協会が派遣した「JENESYS2018」第二十三回中国教育関係者代表団計60名が、11月12日から11月16日までの4泊5日の日程で来日しました（団長：王占起（オウ・センキ）中国日本友好協会 副秘書長）。一行は東京のほか、京都・大阪を訪問。各種教育機関などを訪問・視察し、日本の教育関係者と交流したほか、各地で歴史・文化・科学技術に関する参観を通し、包括的な対日理解を深めました。一行は、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて对外発信を行いました。また、報告会で帰国後のアクション・プラン（活動計画）について、代表者が発表しました。

【訪問地】 東京都、京都府、大阪府

2. 日程

11月12日（月）

羽田空港より入国

【見学】 皇居二重橋

【オリエンテーション】

【歓迎会】

11月13日（火）

【訪問・交流】 グループ1：新宿区立落合第一小学校、グループ2：豊島区立西池袋中学校

【見学】 グループ1：TEPIA 先端技術館

【講義聴講】 新学習指導要領に関する文部科学省ブリーフ

11月14日（水）

京都へ移動

【見学】 二条城、金閣寺

【体験】 温泉旅館宿泊

11月15日（木）

大阪へ移動

【交流】 大阪府教育庁との懇談会

【訪問・交流】 グループ1：大阪府立北野高等学校、グループ2：大阪府立今宮工科高等学校

【歓送報告会】 訪日成果・帰国後の活動計画発表

11月16日（金）

関西空港より帰国

3. プログラム記録写真 (訪問地：東京都、京都府、大阪府)



11月12日【歓迎会】外務省アジア大洋州局 中国・モンゴル第一課 井川原 賢 地域調整官による挨拶



11月13日【見学】TEPIA 先端技術館見学 (グループ1)



11月13日【訪問・交流】新宿区立落合第一小学校 (グループ1)



11月13日【訪問・交流】新宿区立落合第一小学校 (グループ1)



11月13日【訪問・交流】豊島区立西池袋中学校 (グループ2)



11月13日【訪問・交流】豊島区立西池袋中学校 (グループ2)



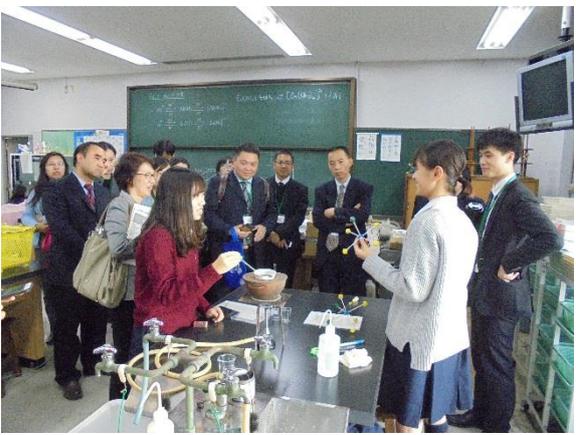
11月13日【講義聴講】文部科学省ブリーフ



11月14日【見学】二条城



11月15日【交流】大阪府教育庁との懇談会



11月15日【訪問・交流】大阪府立北野高等学校（グループ1）



11月15日【訪問・交流】大阪府立北野高等学校（グループ1）



11月15日【訪問・交流】大阪府立今宮工科高等学校（グループ2）



11月15日【訪問・交流】大阪府立今宮工科高等学校（グループ2）



11月15日【歓送報告会】団員による感想・アクションプランの発表

4. 参加者の感想（抜粋）

○短くとも収穫の多かった今回の日本訪問では、新宿区立落合第一小学校見学、文部科学省による講義、大阪府教育庁との懇談、大阪府立北野高等学校訪問を行った。これらのプログラムを通じ、日本の現行の教育施策や未来を見据えたこれからの学習指導要領について、おおよそ理解することができた。私としては、日本の教育が小学生の道徳教育に力を入れている状況を見たり、児童生徒の授業の様子を実際に目にして、大変感銘を受けた。未来を生きる子どもたちに質の高い道徳教育を施すことは、彼らの一生にわたる大切な土台を築くことにもなる。中国でもこれと似たカリキュラムが組まれてはいるものの、具体的な実践において日本に見習うべき点があると感じた。他にも、弱者への配慮が行き届いていたり、バランスのとれた教育の進展が重視されていることも、日本の教育が成果を挙げている大きな理由の一つだろう。弱い境遇にある人々をきちんと育て上げられる民族こそが、これからはしっかり発展していくことができる。中国でもそうした仕組みや制度が整えられており、日本と同じ目標を目指している。今回見学した北野高校でも、取り組みの多くに中国と共通する部分が見られた。互いに参考にし合える点もあるのではないだろうか。

○自分の学校の児童生徒や同僚らと日本の教育の状況、とりわけ家庭や地域社会による教育への参与やサポートについて見聞きしたことを共有する。生徒に向けては、日本の生徒たちの安全意識や環境意識について、また熱心なスポーツ活動のことをたくさん紹介しようと思う。そして学級担任や理科教員らと共に、ゴミ分別など環境保護の啓発活動を繰り返し広げていきたい。これからの自分自身の仕事や生活においては、日本の文化・経済・芸術などに関する本を多く読み、日本への理解を深めていきたい。

○今回私にとっては初めての日本だったので、着いてまず、その整然とした街並みや清潔さに目を奪われた。新宿区立落合第一小学校訪問では、校内に設けられた特別支援学級が最も印象に残っている。ここは、発達障害児たちがより適切な指導を受け、教員のサポートで次第に自分に自信を持つようになり、他の仲間たちと同様、今をより良く暮らしていくこと、将来をより良く生きていくための学びを深める場であった。私たちも教育活動の中で同じく発達障害児たちに出会う。日本での特別支援方式は私に多くの気づきを与えてくれた。彼らを指導するだけでなく、もっと大切なのは「照準の合ったきめ細やかな支援」なのだ意識させられた。

私たちは他にも大阪府教育庁との懇談会に参加したが、ここでの教育目標もまた、「違いを認め合う」というものだった。地域が違っていても教育の力点は変わらない。つまり、どの子にも最良の教育を受ける権利があり、子ども一人ひとりが自己を認識し、自分を発見し、肯定すると同時に、人のことをきちんと認め、他人を思いやれるよう学校は全力で支える、全ての子がこうした好ましい雰囲気の中で心身共に健やかに成長していかなければならない、というものだ。

○帰国後は、日本の小中高校における身体能力向上への強い関心、例えば、授業間の休み時間での活動や午後のクラブ活動について同僚教師らと共有したい。健やかな体があってこそ、児童生徒は厳しい勉強にも挑戦できるし、強い意志を育てていけるのだ。

また、国民一人ひとりの正しい行いや自覚を養う教育などは、私たちが道德教育を進める中で注力し見習わなければならない目標であろう。学校が人を育てることの究極の目的は、世の中の役に立つ市民を育成することであり、市民の民度はその国の未来の成長の行く末を決定付けるものだからだ。

○文部科学省での講義で、現在の日本の科学技術や経済の高度な発達は、一つ目には一貫した教育重視の歩みと無縁ではないこと、二つ目には科学的先見性のあるカリキュラム設計の賜物であること、三つ目には効果的な実践の徹底にある、ということを知った。例えば、初冬の寒さの中、子どもたちが半袖短パンで体育の授業を受けている姿は、私たちに「剛毅」を感じさせたし、子どもたちが班を作り、自分たちだけで登校する様子には「自立」を、一生懸命教室や校内を掃除する姿には「勤労」を、授業に生活科や家庭科が組み込まれている点には、学校が単に知識を教えるだけではなく、それ以上に子どもに如何に命への「責任」を担っていくかを教える場であることを、剣道や相撲、柔道を学ぶ武道場は、何より「日本文化と礼節」を継承する場だということ私たちに思い知らせてくれた。

○豊島区立西池袋中学校を訪問した際、学校に足を踏み入れてまず、その清潔さと整理整頓、落ち着きと静けさに心を打たれた。校内の清掃全てが生徒たちの手によるものだと聞き、日本の生徒の労をいとわない勤勉さと真面目さを見たような気がした。ここは中規模校ではあったが、教育関連施設や設備が完備され、しかも合理的で人に優しいデザインだった。ここの生徒に対する一番の印象は「本分」の二文字である。わざとらしさや不自然さなど感じさせず、中学生らしい伸び伸びとした様子、懸命に取り組んでいる姿勢が見て取れた。先生方の職員室は決して広くはなかったが、きちんと整理整頓され、熱心で誠実な指導振りが窺えた。とりわけ、生徒それぞれの状況に応じた数学の習熟度別授業は、参考価値の大変高い、中国でも広めていくべき指導方法だと感じた。また、生徒の心身の健やかな成長のため学校が行っている部活動の数々は、生徒の実践能力を鍛え、たくましく生き抜く力を培い、読書する力をつけさせるもので、日本の教育が単に教科書の知識を積み上げるだけでなく、それ以上に生徒の心身の健康と人格形成、未来への適応能力の育成を重んじていることの表れだと思った。中でも体育の授業での半袖短パンによる「耐寒」指導などは、生徒の我慢と頑張りへと向上心を培うものであろう。半日の見学と交流で感じた全体的な印象は、これからの教育のあり方に対する国と社会の関心の高さであり、学校、教師に対する確たる尊敬であった。また、日本人の時間厳守へのこだわりと規範意識、仕事に対する姿勢というものも窺い知ることができた。私自身、我が身を振り返ると同時に、そうしたことをこれからの自分の仕事や生活の中で貫いていきたい。

5. 受入れ側の感想

◆省庁関係者

○中国の教育現場の事情を基にした質問が多く飛び交い、講義を行った側も学びが多く、非常に充実した時間となったと感じております。特に中国における、日本と中国の学力が十分ではない生徒に対する、対応の差に関する質問については非常に興味深く、日本の教育現場では、教師は当該生徒を生徒たち同士みんなで助け合える関係性作りのサポートを行うとご回答した際には、訪日団同士でお互いの顔を見合わせて、教育事情を確認し合っていたのが印象的でした。訪日団の方々にとっても、本講義が中国の教育、また日中の交流や友好関係構築に有意義なお時間となっております幸いです。

◆学校関係者

○訪日団の皆様の学ぼうとする姿勢と意欲に感心しました。少しでも疑問に思ったことや知りたいと思ったことがあれば、通訳の方を通して、数多くの質問をしてくださいました。お迎えした学校として、とても有難く、とても充実した時間を過ごすことができました。道徳科の授業についても短時間でしたが、いくつかの学年の授業を見ていただきました。生徒の学習の様子をじっと見つめる訪日団の皆様の姿はとても印象深く残っています。給食も残菜がほとんどなく、お口に合ったようでほっとしています。貴重で楽しい交流となりました。

○中国教育関係者とのさまざまな意見交換ができて良かった。学校の特徴をPR出来たのも良かったし、中国の学校事情も理解できたのが良かった。中国も日本も生徒に対する苦勞の部分が共通していることがよく分かった。

◆自治体関係者

○情報化・国際化が進み、教育においても国内のみならず、国際的な視点を持って様々な取り組みを進めていく必要がある今日、中国教育関係者代表団の皆様との交流は受け入れる側にとっても国際的な感覚を養う良い機会となりました。国や地域、また経済状況等、共通する課題もあれば異なる課題もあるとは思いますが、この交流が、今後の中国の教育に少しでも貢献できましたら幸いです。

6. 参加者の対外発信

#JENESYS2018中国教育工作者代表团#来日本交流的行程过半，日本人民的热情、相当好的日本治安、彬彬有礼的工作人员、有序的日本课堂，让我们在浓烈的学习讨论氛围中感受到了日本的不同，了解了日本教育改革的趋向。对于年轻的我来说，收获非常的多！感谢两国搭设的平台，让中日友好共同向前！



#JENESYS2018中国教育工作者代表团#今天，教育团一行，从东京乘坐新干线，到达京都。沿途风景非常优美，新干线上幸运地见到云端的富士山。京都的二条城作为世界保护遗产，让我们可以一睹江户幕府时期的风采。金阁寺寺院幽静，枫叶正红的季节，金灿灿的殿宇掩映在林间，倒影在湖面，非常赏心悦目。



日本理解についての発信

訪日交流の日程も半分を過ぎ、日本人の情熱、良い治安、礼儀正しいスタッフ、順序ある授業、濃厚な学習・討論の雰囲気の中で私たちは日本の違いを感じ、日本の教育改革の方向を理解できた。若い自分にとって、収穫がとても多い。このような機会を与えてくれたことに感謝している。中日友好を前へと進めていこう。

参観についての発信

本日、教育団一行は、東京から新幹線で京都に到着。沿道は素晴らしい景色、運がよく新幹線から笠雲の中の富士山を眺められた。世界遺産に登録されている京都の二条城で、江戸幕府時代の風情を感じた。奥深くて物静かな金閣寺、紅葉の季節に、林の中に金色に輝く殿宇が湖面に映って、身も心も楽しんだ。

日本之行：干净有序的街道，合理有效的环保措施，工科高中的教学设备



日本之行最后一日，体验了温泉文化和日式晚餐，大阪一日访问也是收获满满，深秋的景色更加迷人，学校热情接待也让我感受了不一样的教学课堂👍👍👍



日本・京都

日本理解についての発信

日本の旅：清潔で整然とした街、効率的で最適な環境政策、工業科高校の教育設備。

日本文化・学校交流についての発信

日本の旅最後の日、温泉文化や和宴会を体験した。大阪で過ごした一日も収穫が多く、秋深い景色は更にすばらしく、学校の心のこもったもてなしに中国と異なった授業を感じさせられた。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



- ・日本の授業の取組みを帰国後、自分の授業にも取り入れ実践したい。
- ・SNS で今回の活動の成果を発信し、分かち合いたい。
- ・帰国後は、学校の管理職に対し今回の訪日プログラムでの経験や感想を報告すると同時に、自分のメモと撮影した写真をもとに紀行アルバムや PPT ファイルを作り、全校学習集会と自分が授業を持つクラスのホームルームでそれらを紹介する。
- ・中日友好協会のオフィシャルホームページや WeChat、ブログに注意をはらう。
- ・日本に留学や定住している学生らとの連携を強化し、日本の庶民の生活や教育に関する事柄を常に教えてもらうようにする。
- ・自分の夏休みや冬休みを利用し、両親と子供を連れて日本へ観光旅行に行く。
- ・子どもの学校が実施する日本への学習旅行をサポートする。
- ・映画、読書などの文化面で、これからは日本の良い作品を多く選ぶようにする。
- ・友人同士の集まりや家族が集う席で、今回日本で感じたあれこれをたくさん話して聞かせる。